

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23502	特別演習 The Specific Seminar Basic Course	鈴木・横田・早瀬・山本・熊崎・服部	専門	1	必修	1 年前期
科目の概要						
入学直後には、図書館の利用方法や就職支援及び学生支援など、キャンパスライフに係る部署・教室などを案内する。また、個人面談を実施し 2 年間の修学に向けたアドバイスをを行う。学科の親睦を図ることを目的に「1・2年生交流会」や産学連携事業、社会人基礎力育成、県外研修に向けた活動や取り組みを行う。一方、就職支援としてマイナビ登録等を行い今後 に備える。なお、学習内容の変更は、口頭もしくは紙面にて連絡する。 (特別演習は1・2年の指導教授・指導助手全員で担当する)						
学修内容			到達目標			
① キャンパスライフに慣れる。 ② 自分の将来を考え、就職先を考える。 ③ 地域連携の企画書及び県外研修のしおりを作成する。			① 仲間ができ、キャンパス内を把握できる。 ② 自己分析を行い、就職希望企業、希望フィールドを決定することができる。 ③ 産学連携の取り組みや県外研修のしおりを作成し、レポートを提出することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	特別演習の目的を理解し、目標を自ら設定し、進んで取り組み確実に行動できる。				
	働きかけ力					
	実行力	自ら質問し、話し合いを進め目標に向かってやりぬくことができる。				
考え抜く力	課題発見力	現状を分析し、課題を解明し、それらを解決するプロセスを明らかにして準備ができる。				
	計画力					
	創造力	地域連携活動や研修に向けたしおりづくりの提案をすることができる。				
チームで働く力	発信力	産学連携事業の企画・運営などにおいて、1・2 年生および各グループで協力して最後まで遂行することができる。				
	傾聴力	話し合いの中で、人の意見を聞くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	レポートの提出期限を守ることができる。欠席しない。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
愛知学泉短期大学就職のてびき(本学就職指導委員会) 新入生へのメッセージ(本学編著) キャンパスライフ(本学編著) 参考文献:図書館の書籍を利用する。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 栄養士学外実習指導 キャリアデザイン講座 無限の可能性開発講座 I・II 資格との関連: 栄養士免許						
学修上の助言			受講生とのルール			
通常の講義科目とは異なるが、社会人基礎力の育成にはよい機会となる。グループワークが多いのでチームで働く力を養ってもらいたい。			グループ活動が多いので、欠席はしないこと。 自己分析を進めておくこと。 授業中は、私語を慎み、演習や面談については、積極的に対応すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	50	①		① 社会人基礎力についてのレポート
		②		② 産学連携についてのレポート
		③	✓	③ 県外研修のしおり作成レポート
		④		④ 栄養士学外実習報告会についてのレポート
		⑤		上記4つのレポートについて評価する。
成果発表 (口頭・実技)	40	①		① 産学連携についてのレポート発表
		②		② 県外研修のしおり作成レポート発表
		③		
		④		
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性)
		②	✓	質問に自ら進んで解答できる。
		③	✓	(実行力)
		④		自ら質問し、話し合いを進め、目標に向かって実行できる。
		⑤		(計画力) グループ内での役割分担、時間配分を考え、期限内に完成させることができる。 (発信力、傾聴力) グループワークでの話し合いでは、人の意見を聞き、自分の意見をまとめて伝えるなど、積極的に行動できる。 (課題発見力、創造力) レポート課題などで、自分の考えをわかりやすく工夫してまとめることができる。 (規律性) 受講態度(遅刻、学習意欲度、実習取組度等)、ルールを守って行動できているかを評価する。
その他		①		6回以上の欠席はO(放棄)判定となる。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)は、欠席がほとんどない(特別な理由を除く) 提出物は期限内に提出され、他の模範となる内容であり、適切に作成されている。受講態度が非常に優秀である。 グループワークに積極的に参加している。</p> <p>A(優)は、提出物は期限内に提出され、適切に作成されている。受講態度は優秀である。 グループワークに積極的に参加している。</p>	<p>B(良)は、欠席が数回しかないこと。 受講態度が良好である。 グループワークも問題なくできている。</p> <p>C(可)は、グループワークに参加しているが、やや積極性に欠けている。提出物は期限内に提出されているが、やや不適切な箇所がある。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション リメディアル教育 (山本)	講義	レポート、ワークシートにおいて論理的な文章構成で自分の考えを正しく伝える。	(予習)文章力や読み・書き、数学の基礎を練習しておく。 (復習)一般教養問題を解き、書く力、読む力をつける。 (予習)社会人基礎力とは何かをノートにまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
2週 /	社会人基礎力について学ぶ ジェネリックスキル測定・育成ツールを用いて、社会人基礎力の獲得状況を知る。 (ゲスト講師)	講義	社会人基礎力について理解している。	(復習)授業で得た知識を加え、社会人基礎力獲得についての自己評価をまとめておく。 (予習)入学後の自分を振り返り、気づいた点聞きたいことなどをまとめておく。	90	主体性 傾聴力 規律性
3週 /	個人面談① －自分を振り返る－ 学生生活、友人関係、学修法等についての個人面接を行う (横田・山本・早瀬・熊崎・服部)	講義・面談	入学直後の学修内容や友人関係に関する悩みや不安がなくなる。	(復習)面談後の自己評価をする。 (予習)キャンパスライフに掲載されている図書館の利用法を読んでおく。	90	主体性 実行力 創造力 傾聴力 規律性
4週 /	キャンパスに慣れる 図書館を見学し、利用方法について学ぶ。 (山本)	見学	図書館の利用法がわかる。	(復習)図書館の利用法を再度読んでおく。 (予習)社会人基礎力とは何かをノートにまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
5週 /	社会人基礎力について学ぶ ・ジェネリックスキル測定・育成ツール結果説明 ・現在の自己評価および今後の獲得に向けた目標、行動計画を考える。 (ゲスト講師)	講義 レポート課題提出後、フィードバックする	社会人基礎力について理解している。	(復習)自身の社会人基礎力獲得に向けた取り組みについてレポートにまとめる→レポート提出① (予習)キャンパスライフを読んでおく。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
6週 /	学生生活について －キャンパスマナーを中心に－ (ゲスト講師)	講義・演習	行動特性を伸ばし、学修効果を高めて自己実現を図る。	(復習)学生生活のルールを説明できる。 (予習)自己評価から、今後自分自身がどのような社会人基礎力を獲得していきたいかノートをまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	個人面談② －キャンパスライフを豊かに－ 学生生活、学修法、就職、友人関係等についての個人面接を行う (山本・早瀬)	講義・面談	行動特性を伸ばし、学修効果を高めて自己実現を図る。	(復習)面談後の自己評価をする。 (予習)就職情報を確認し、疑問点や気になることなど考えておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	就職ガイダンス －マイナビ登録－ (山本)	講義・演習	株式会社マイナビの就職情報サイトに登録する。	(復習)マイナビを活用する。 (予習)自分自身がどのような社会人基礎力を獲得していきたいかノートをまとめておく。	90	主体性 実行力 主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	社会人基礎力と無限の可能性 —誰にでも無限の可能性がある— (山本)	講義・演習	社会人基礎力育成講座及び無限の可能性開発講座について説明できる。	(復習)無限の可能性開発講座で学んだことをまとめておく。 (予習)産学連携事業とは何かをノートにまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	産学連携事業に向けて (山本)	演習 レポート課題出題 提出	産官民連携事業の必要性を理解し、地域連携での担当を説明できる。	(復習)学科での産学連携の取り組みについてまとめておく (予習)産学連携事業とは何かをノートにまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	産学連携事業に向けて (山本)	演習 レポート課題出題 提出後、フィードバックする	産官民連携事業の必要性を理解し、地域連携での担当を説明できる。	(復習)学科での産学連携の取り組みについてまとめておく→レポート提出② (予習)見学内容と見学施設等を調べておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	県外研修について しおり作成 (山本)	グループワーク	県外研修の意義、目的を説明できる。	(復習)完成させたしおりを元に発表データをまとめておく。 (予習)県外研修の目的を考え、質問事項を考えておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	県外研修について しおり作成 (山本)	グループワーク 発表 レポート課題出題 提出後、フィードバックする	県外研修の意義、目的を説明できる。	(復習)見学内容と見学施設等を調べておく→レポート提出③ (予習)学外実習の目的を考え、質問事項を考えておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	栄養士学外実習報告会 1.2年合同実施 (服部)	演習 レポート課題	学外自実習の意義、課題を説明できる。	(復習)先輩からの報告について、また自分が行きたい学外実習先を検討する。→レポート提出④ (予習)どんな社会人基礎力が身についたのかノートにまとめておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	まとめ 能動的学修をめざして (山本)	ディスカッション	特別演習の内容と必要性を説明できる。	(復習)授業を通して成長した社会人基礎力育成能力名を整理する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23502	特別演習 The Specific Seminar Basic Course	鈴木・横田・早瀬 山本・熊崎・服部	専門	1	必修	1年後期
科目の概要						
<p>県外研修は通常授業の中では実施出来ない食品工場や食品卸市場等の見学を中心に実施する。また、地域連携を積極的に行い、「社会人基礎力グランプリ」への出場に向けた取り組みを主体的に進めていく。就職対策として進路希望調査(カード記入)、小論文添削指導、一般教養試験、マナー講座、履歴書・エントリーシートの書き方及び面接指導などを行う。なお、学習内容の変更は、口頭もしくは紙面にて連絡する。 (1・2年の指導教授・指導助手全員で担当する)</p>						
学修内容			到達目標			
① 地域連携活動、食育教室に取り組む。			① 地域連携活動の企画・運営を遂行する中で、集団の中での自己の役割を認識し仲間との協働作業をとおして、コミュニケーション力を養うことができる。			
② 就職支援では、講義、演習等で、就職活動の成功に繋げる。			② 小論文、一般常識、履歴書の書き方などが理解でき、満足できる就職活動を実施することができる。			
③ 県外研修は通常授業の中では実施出来ない食品工場の見学や和菓子作り体験などを実施する。			③ 食品工場の見学、和菓子作り体験をとおして、レポートを作成しまとめることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	特別演習の目的を理解し、目標を自ら設定し、進んで取り組み確実に行動する。				
	働きかけ力					
	実行力	自ら質問し、話し合いを進め、目標に向かってやりぬくことができる。				
考え抜く力	課題発見力	現状を分析し、課題を解明し、それらを解決するプロセスを明らかにして準備ができる。				
	計画力	グループ内での役割分担、時間配分を考え、期限内に完成させることができる。				
	創造力	話し合いの中で、様々な角度から考え進めることができる。				
チームで働く力	発信力	産学連携事業において、1・2年生および各グループで協力して最後まで遂行することができる。就職活動に向けた指導に積極的に取り組むことができる。				
	傾聴力	話し合いの中で、人の意見を聞くことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	レポートの提出期限を守ることができる。欠席しない。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
愛知学泉短期大学就職のてびき(本学就職指導委員会) 新入生へのメッセージ(本学編著) 参考文献:図書館の書籍を利用する。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 栄養士学外実習指導 キャリアデザイン講座 無限の可能性開発講座Ⅰ・Ⅱ 資格との関連: 栄養士免許						
学修上の助言			受講生とのルール			
通常の講義科目とは異なるが、社会人基礎力の育成にはよい機会となる。グループワークが多いのでチームで働く力を養ってもらいたい。			グループ活動が多いので、欠席はしないこと。 自己分析を進めておくこと。 授業中は、私語を慎み、演習や面談については、積極的に対応すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	50	①	✓	県外研修のレポートの提出、産学連携についてのレポート、社会人基礎力グランプリに関するレポートは、提出期限、用紙のサイズ、枚数などのルールを守ること。
		②		
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	40	①		県外研修まとめ発表 食育教室
		②		
		③		
		④		
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 質問に自ら進んで解答できる。 (実行力) 自ら質問し、話し合いを進め、目標に向かって実行できる。 (計画力) グループ内での役割分担、時間配分を考え、期限内に完成させることができる。 (発信力、傾聴力) グループワークでの話し合いでは、人の意見を聞き、自分の意見をまとめて伝えるなど、積極的に行動できる。 (課題発見力、創造力) レポート課題などで、自分の考えをわかりやすく工夫してまとめることができる。 (規律性) 受講態度(遅刻、学習意欲度、実習取組度等)、ルールを守って行動できているかを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
その他		①		6回以上の欠席はO(放棄)判定となる。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)は、欠席がほとんどない(特別な理由を除く) 提出物は期限内に提出され、他の模範となる内容であり、適切に作成されている。受講態度が非常に優秀である。 グループワークに積極的に参加している。</p> <p>A(優)は、提出物は期限内に提出され、適切に作成されている。受講態度は優秀である。 グループワークに積極的に参加している。</p>	<p>B(良)は、欠席が数回しかないこと。 受講態度が良好である。 グループワークも問題なくできている。</p> <p>C(可)は、グループワークに参加しているが、やや積極性に欠けている。提出物は期限内に提出されているが、やや不適切な箇所がある。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	食品工場見学 県外研修で地域の文化と食環境を探る。 (見学の引率)	県外研修 (食品工場見学と体験実習) レポート提出後、フィードバックする	県外研修の意義と地域の食文化や食環境を説明できる。	(復習) 研修レポートを作成すること。 (予習) 実施されている産官学連携事業について、目的等を調べまとめておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	産学連携の取り組み① (山本)	グループワーク	地産地消や食品の開発を説明できる。	(復習) 産学連携の意義と能動的学習をまとめること。 (予習) 食品の特徴を検討すること。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	産学連携の取り組み② (山本)	グループワーク後、フィードバックする	地産地消や食品の開発を説明できる。	(復習) 食品の特徴をふまえて、試作実施に向けたレポートを作成すること。 (予習) 自己分析、企業研究をしておくこと。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	就職試験対策 －就職作文試験－ (服部・山本)	演習	小論文作成において、自分の弱点がわかる。	(復習) 自己PRなど文章に生かせるようにまとめておくこと。 (予習) ニュース、新聞を普段から見ておくこと。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	就職試験対策 －時事・経済・文字と言葉等の常識、筆記試験－ (山本)	試験後、フィードバックする	一般常識問題の弱点がわかり、知識が増える。	(復習) 一般常識問題の確認を行い、弱点をまとめておくこと。 (予習) 試作実施後の課題をみつけること。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	産学連携の取り組み③ 社会人基礎力グランプリ (山本)	グループワーク・発表・社会人基礎力アンケート実施	地産地消や食品の開発を説明できる。	(復習) 試作後の課題について改善点をまとめること。 (予習) 仕入れ数や役割分担を検討すること。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	社会人基礎力学科コンペ (1・2年合同) (横田・山本・早瀬)	グループワーク・発表後、フィードバックする	産学連携の取り組みについて振り返り、課題を説明できる。	(復習) 取組や運営について、発表について課題と対策をまとめること。→レポート提出 (予習) 自己分析、企業研究をしておくこと	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	就職対策 －働くことの意義－ (服部・ゲスト講師)	講義・演習	就職課がいぶこうしに、働くことについて、就職活動について話を聞き、就職について説明できる。	(復習) 自己PRなど文章にしておくこと。 (予習) 食育活動の準備、媒体の確認をしておくこと。	30	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	食育教室準備 (早瀬・山本)	演習・グループワーク	食育教室の練習において、相手の立場、役割を考え、社会人基礎力を意識した行動を説明できる。	(復習)食育活動の準備、媒体の確認をしておくこと。 (予習)食育活動の準備、媒体の確認をしておくこと。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	食育教室準備 (早瀬)	演習・グループワーク	食育教室の練習において、相手の立場、役割を考え、社会人基礎力を意識した行動を説明できる。	(復習)練習を繰り返し、問題点を改善しておくこと。 (予習)JNET について調べ、疑問点をまとめておく。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	就職対策 —JNET 登録— (服部)	情報演習	JNET に個人情報登録し、就職活動に利用できるようにする。	(復習)JNET を活用し、就職活動を進めていく。 (予習)小論文作成に向けて、自己分析、企業研究を行い、まとめておくこと。	30	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	就職試験対策 —就職作文添削指導— (服部)	講義・演習	小論文作成のスキルが向上する。	(復習)小論文のポイントの振り返りを行い、まとめておくこと。 (予習)自己分析、企業研究をしておくこと。面接マナーについて調べておくこと。	30	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	就職対策 —面接指導— (服部)	講義・演習	面接におけるマナーを習得する。	(復習)栄養士学外実習先で実践できるようにまとめておくこと。 (予習)履歴書作成に向けて、自己分析、企業研究をしておくこと。	30	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	先輩からのメッセージ (山本)	聴講	先輩の就職活動の話聴き、自分に置き換えて、自分の就職活動のイメージができる。	(復習)就職活動の流れを再確認し、疑問点をなしておくこと。	30	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	就職対策 —履歴書・エントリーシート— (服部)	講義・演習後、フィードバックする	履歴書・エントリーシートの書き方を説明できる。	(復習)自己PRなど文章にし、履歴書、エントリーシートに活用できるようにまとめておくこと。 (予習)先輩の話をもまえ、自分に置き換えられるように、自己分析、企業研究をしておくこと。	30	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23502	特別演習 The Specific Seminar Basic Course	鈴木・服部・横田 早瀬・山本・熊崎	専門	1	必修	2年前期

科目の概要

自立した社会人として、一般的知識と技能、常識に裏付けられた考えを持ち、自己研鑽に取り組み、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で貢献できる能力の育成及び建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力の修得を目指す。授業においては、特に、就職活動対策と産官学連携事業等への取り組みを主に行い、エントリーシートの作成方法、面接指導(個人・集団)も含め、他の科目と異なり大学以外の場での活動も加わり、活動の幅が大きく広がる内容となる。社会人基礎力育成についても重視し、ジェネリックスキル(社会人基礎力)テスト・育成ツールを活用した講座も実施する。この授業では、栄養士に必要な客観的な証拠に基づいて科学的に判断する能力を身に付ける。(特別演習については、1年・2年担当の教員・助手全員で担当する。)

学修内容	到達目標
①就職活動対策として、履歴書(自分の能力や人柄を正しくアピールできる記述)やエントリーシート(必須3項目:仕事をする資質及び潜在能力、働く意欲、就職観を)アピールできる記述)の書き方を理解し、説明できることを目標とする。	①履歴書、エントリーシートで、自分の能力や人柄を正しくアピールする等、効果的に記述することができる。
②就職活動対策として面接の仕方、対応方法を理解し、的確に対応できるようになることを目標とする。	②就職面接時の対応を上手く実施することができる。
③産官学連携事業を理解し、関係者と事業を実施し、関係者等に事業内容やスケジュールを説明できることを目標とする。	③産官学連携事業を理解し、大学以外の関係者と事業をスムーズに実施することができる。
④栄養士学外実習の報告発表会をとおして、学外実習の期間、内容、課題等が説明できることを目標とする。	④学外実習報告会における資料作成、プレゼンテーションを効果的に構成し、発表することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 特別演習の目的を理解し、目標に向かって指示が無くとも、進んで取り組みを行うよう努力することができる。
	働きかけ力
	実行力 自分で決めた目標に向かって、一度始めたことは最後までやり切ることができる。
考え抜く力	課題発見力 思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる
	計画力 レポートは決められた期日を遵守して作成し、計画どおり進まない時は、計画を見直し修正できる。
	創造力 物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力 整理した内容を的確な文章で表現でき、発表の仕方を工夫して表現できる。
	傾聴力 グループワークでは、人の意見には「うなづき」「相づち」等で聞く姿勢ができ、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト:愛知学泉短期大学就職の手引き(本学就職指導委員会)
新入生へのメッセージ(本学編著)

参考文献:図書館の書籍を活用する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との連携:栄養士学外実習指導 キャリアデザイン講座 無限の可能性開発講座Ⅰ・Ⅱ

資格との関連:栄養士免許、栄養士実力認定試験

学修上の助言	受講生とのルール
通常の講義科目とは異なるが、社会人基礎力の育成にはよい機会となる。演習やグループワークが多いので、コミュニケーションがとれることと、積極性、リーダーシップを発揮するように心がけるようにしてほしい。	グループ活動が多いので、欠席をしないようにする。授業中は、私語を慎み、演習や面談については、積極的に対応することと欠席による課題提出ができない場合は、別途レポート提出がある。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	60	① ✓ ② ③ ✓ ④ ✓ ⑤	課題レポートは、4回実施する。 (履歴書、集団面接レポート、産官学連携事業レポート、学外実習レポート) (15点×4回) 詳細内容については、授業の中で説明する。 提出期限 開催日翌週の水曜日
成果発表 (口頭・実技)	30	① ② ✓ ③ ④ ⑤	就職面接時の対応を上手く実施することができるかを判定するため面接の実技試験を行う。さらに、学外実習報告内容発表も審査する。 以下3点を重視して評価する。 ① 面接の準備(履歴書、身だしなみ含む) ② 志望動機、自己PR、一般常識等の受け答えの技法 ③ 学外実習報告発表
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑤	(主体性)特別演習の目的を理解し、進んで取り組みを行うよう努力することができる。 (実行力)確実に決めた目標に向かって進めることができる。 (課題発見力)思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 (計画力)現状を分析し、課題を解明し、それらを解決するプロセスを明らかにして準備をすることができること、さらに、決められた時間内に実施することができる。 (創造力)物事を考える時に、固定概念に捉われないこと、いろいろな方向から考えることができる。 (発信力)目標に向かって必要な情報を発信することができ、工夫して、効果的に対象者に伝達できる。 (傾聴力)対象者や他の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。 (規律性)レポートの提出期限を守る等、ルールを守って行動できるかを評価する。
その他			
総合評価割合	100		レポート、成果発表(口頭・実技)及び学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の目安】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
積極的にグループワークやその他の活動に取り組み、履歴書、エントリーシートの内容や面接時術が非常に優れ、学外実習報告会の発表内容が非常に優れ、受講態度、学修意欲が非常に優秀である。(①) 真摯な自己回顧により自分の行動特性や意識をまとめ、相手に理解できるように話すことができ、産学連携事業に積極的に関わり、リーダーシップを発揮できている。(②) S(秀)=①+② A(優)=①または②	グループワークやその他活動に取り組み、履歴書、エントリーシートの内容や面接技術が優れ、学外実習報告会の発表内容に問題となることも無く、受講態度も真面目であった。(①) 自分の行動特性をまとめることができ、礼節も問題なく守れ、産学連携事業にも関わり、協調して実行したと判断した場合(②) B(良)=①+② C(可)=①または②

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション リメディアル教育 (鈴木)	講義 リメディアル教育 試験の解説	レポート、ワークシートにおいて論理的な文章構成で自分の考えを正しく伝えることができる。	(予習)文章力や読み・書き、数学の基礎を練習しておく。 (復習)一般教養問題を解き、書く力、読む力をつける。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
2週 /	社会人基礎力について学ぶ ジェネリクススキル測定・育成ツールを用いて、社会人基礎力の獲得状況を知る。 (ゲスト講師)	先回授業のポイントを質疑応答方式で実施、フィードバックする。 講義	社会人基礎力について理解している。	(予習)社会人基礎力とは何かをノートにまとめておく。 (復習)授業で得た知識を加え、社会人基礎力獲得についての自己評価をまとめておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	就職支援講座① 働くことの意義や企業選択について学ぶ 履歴書作成について学ぶ (鈴木)	先回授業のポイントを質疑応答方式で実施し、フィードバックする。 講義	働くことの意義や社会でのマナーやルールを学ぶ。 志望動機、自己PR等の正しい書き方を理解している。 求人票の見方を理解している。 企業倫理について理解している。	(予習) ・履歴書を記入する。特に自分の強み・弱みなどの自己分析を行い、記述しておく。 ・求人票を閲覧し、興味のあるものについてコピーをとっておく。 (復習)就職スケジュールを立てる。履歴書を修正し、新しく正書しておく。特に自己PRは面接で口頭するため、しっかりと提示できるようにする。→レポート(履歴書)提出①	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
4週 /	個別面談 学生生活、学修方法、就職、友人関係等についての個人面接を行う 就職希望カード持参 (鈴木・熊崎・服部・横田 早瀬)	先回授業のポイントを質疑応答方式で実施し、フィードバックする。 演習	1年次の学修成果や課外活動、友人関係等を振り返り、自己の適性を理解し、就職の活動を説明できる。	(予習)就業希望フィールドを決定しておく。 (復習)志望動機、自己PR等を暗記しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	社会人基礎力について学ぶ ジェネリクススキル測定・育成ツール結果説明 現在の自己評価および今後の獲得に向けた目標、行動計画を考える。 (ゲスト講師)	先回授業のポイントを質疑応答方式で実施し、フィードバックする。 講義	社会人基礎力について理解している。	(予習)自己評価から、今後自分自身がどのような社会人基礎力を獲得していきたいかノートにまとめておく。 自己PRを説明できるように準備する。 (復習)自身の社会人基礎力獲得に向けた取り組みについてレポートにまとめる→レポート提出②	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	就職面接指導(集団)① 面接の実技試験を実施する。 栄養士フィールド (鈴木・熊崎・服部・横田)	先回授業のポイントを質疑応答方式で実施し、フィードバックする。 実技試験	就職面接について理解している。	(予習)履歴書を熟読し、就職面接の練習をしておく。 (復習)志望動機、自己PR等、さらに上手く回答できるように修正し、暗記をしておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	就職面接指導(集団)② 面接の実技試験を実施する。 食品製造・調理フィールド (鈴木・熊崎・服部・横田)	先回授業のポイントを質疑応答方式で実施し、フィードバックする。 実技試験	就職面接について理解している。	(予習)履歴書を熟読し、就職面接の練習をしておく。 (復習)志望動機、自己PR等、さらに上手く回答できるように修正し、暗記をしておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	就職面接指導(集団)③ 面接の実技試験を実施する。 医療事務・その他フィールド (鈴木・熊崎・服部・横田)	先回授業のポイントを質疑応答方式で実施し、フィードバックする。 実技試験	就職面接について理解している。	(予習)履歴書を熟読し、就職面接の練習をしておく。 (復習)志望動機、自己PR等、さらに上手く回答できるように修正し、暗記をしておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可) の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 / /	就職支援講座② 求人票の見方と企業倫理 について学ぶ (服部)	先回授業のポイントを質 疑応答方式で実施し、 フィードバックする。	求人票の記載内容と 企業の倫理を理解す る。	(予習)産官学連携事業の目的などを 整理しておく。 (復習)求人票の記載内容から面接時 に確認する事項をまとめておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 / /	産官学連携事業に向けて ① 歴代の実施内容、成果 について学ぶ。 (鈴木)	先回授業のポイントを質 疑応答方式で実施し、 フィードバックする。	産官学連携事業につ いてその目的・概要を 理解している	(予習)産官学連携事業(他で実施さ れている事業)について、形態、目的 等を調べまとめておく。 (復習)学科での産官学連携事業の特 色をレポートにまとめる。特に他との比 較から考察すること→レポート提出③ 今年度実施したい内容をまとめておく	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 / /	産官学連携事業に向けて ② 今年度の実施計画を検討 し決定する (早瀬)	先回授業のポイントを質 疑応答方式で実施し、 フィードバックする。 グループワーク(鈴木)	産官学連携事業につ いてその実施内容を 理解している	(予習)自分で実施したい内容まとめ、 実施の参考資料等も収集しておく。 (復習)実施計画から自身の分担につ いて考え、実施方法をまとめておく。 実施の参考資料等も収集しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 / /	産官学連携事業に向けて ③-1 実施の準備をする。 (鈴木)	先回授業のポイントを質 疑応答方式で実施し、 フィードバックする。 演習	産官学連携事業につ いてその実施内容を 理解している	(予習)自分の分担を理解し、計画ど おり準備できるように内容を把握して おく。 (復習)実施に向けて授業の時間内に できなかった作業を実施し、全体の進 行に支障を与えないよう各自準備を 行っておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 / /	産官学連携事業に向けて ③-2 実施の準備をする。 (鈴木)	先回授業のポイントを質 疑応答方式で実施し、 フィードバックする。 演習	産官学連携事業につ いてその実施内容を 理解している	(予習)資料作成とプレゼンテーショ ンの練習をしておく。 (復習)実施に向けて授業の時間内に できなかった作業を実施し、全体の進 行に支障を与えないよう各自準備を 行っておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 / /	学外実習報告について 栄養士学外実習報告会を 実施し、2年生の体験・評 価・考察等を1年生に伝 え、参考にしてもらう。 1.2年合同実施 (熊崎)	先回授業のポイントを質 疑応答方式で実施し、 フィードバックする。 演習	学外実習の意義、目 的を理解している。	(予習)見学したい食品会社、体験し たい内容について自身の案をまとめ ておく。 (復習)プレゼンテーション資料を修正 し、提出→レポート提出④	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 / /	県外研修について 見学したい食品会社、体 験したい内容について検 討する。 (熊崎・服部)	先回授業のポイントを質 疑応答方式で実施し、 フィードバックする。 演習	県外研修の意義、課 題を理解している。	(復習)決定した食品会社、体験内容 について調べてまとめておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23502	特別演習 The Specific Seminar Basic Course	鈴木・服部・横田 早瀬・山本・熊崎	専門	1	必修	2年後期

科目の概要

社会人として一般的知識と技能と常識に裏付けられた考えを持ち、自己研鑽に取り組み、自らの可能性を活かしつつ組織や社会の中で貢献できる能力の育成及び建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力の修得を目指す科目である。そのため、産官学連携事業、学園祭の運営企画・実施、食品工場見学等、他の科目と異なり大学以外の場所での活動も加わり、1合同での活動、企業の方との活動などその幅が大きく広がる内容となる。さらに、栄養士実力認定試験の対策講座も実施し、栄養士の専門知識の修得を図る。また、就職活動報告会を開催し、栄養士や医療事務職を目指す後輩の就職活動の一助として実施する。

この授業では、栄養士に必要な客観的な証拠に基づいて科学的に判断する能力を身に付ける。
(特別演習については、1年・2年の教員・助手全員で担当をする。)

学修内容	到達目標
①栄養士実力認定試験対策講座を講義形式で実施し、知識の習得や再確認を行い、専門知識が説明できるようになることを目的とする。 ②学泉祭の企画・運営方法について知り、説明できるようになることを目的とする。 ③就職活動状況報告会を実施し、就職活動のあり方を知り、説明できるようにする。 ④県外研修は、通常授業の中では実施できない食品工場の見学や地域の食文化、食環境を知り、理解する。	①栄養士実力認定試験の意義を理解し、知識の習得と再確認をする。さらに傾向と対策にそって試験に備えB認定以上の成績を得ることが出来る。 ②模擬店運営と課題をレポートにまとめることができる。 ③就職活動状況を整理し、プレゼンテーションができる。 ④食品工場の見学、和菓子作り体験をレポートにまとめることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例

前に踏み出す力	主体性	特別演習の目的を理解し、目標に向かって指示が無くとも、進んで取り組みを行うよう努力することができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分で決めた目標に向かって、一度始めたことは最後までやり切ることができる。
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる
	計画力	レポートは決められた期日を遵守して作成し、計画どおり進まない時は、計画を見直し修正できる。
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないことと色々な方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現でき、発表の仕方を工夫して表現できる。
	傾聴力	グループワークでは、人の意見には「うなづき」「相づち」等で聞く姿勢ができ、さらに自分の意見を述べることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:愛知学泉短期大学就職の手引き(本学就職指導委員会)、新入生へのメッセージ(本学編著)
参考文献:図書館の書籍を活用する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との連携:栄養士学外実習指導 キャリアデザイン講座 無限の可能性開発講座Ⅰ・Ⅱ
資格との関連:栄養士免許、栄養士実力認定試験

学修上の助言	受講生とのルール
通常の講義科目とは異なるが、社会人基礎力の育成にはよい機会となるため、積極性とリーダーシップを発揮するように心がけるとよい。 グループで協力して実施することも多いため、コミュニケーションがとれるよい機会と捉えて臨むとよい。	グループ活動が多いので、欠席はしないこと。 欠席により課題提出ができない場合は、別にレポート提出が必要となります。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	50	①	栄養士実力認定試験結果及び対策講座での結果等により判定を行う。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
小テスト			
レポート	40	①	課題レポートは4題とする。 (県外研修、就職活動、栄養士実力認定試験、社会人基礎力グランプリ大会) (1レポート10点×4題) 内容の詳細については、授業の中で説明する。 提出期限 開催日翌週の金曜日
		②	
		③	
		④	
		⑤	
成果発表 (口頭・実技)			
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	(主体性)特別演習の目的を理解し、進んで取り組みを行うよう努力することができる。 (実行力)確実に決めた目標に向かって進めることができる。 (課題発見力)思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 (計画力)現状を分析し、課題を解明し、それらを解決するプロセスを明らかにして準備をすることができること、さらに、決められた時間内に実施することができる。 (創造力)物事を考える時に、固定概念に捉われないこと、いろいろな方向から考えることができる。 (発信力)目標に向かって必要な情報を発信することができ、工夫して、効果的に対象者に伝達できる。 (傾聴力)対象者や他の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるすることができる。 (規律性)レポートの提出期限を守る等、ルールを守って行動できるかを評価する。
		②	
		③	
		④	
		⑤	
その他			
総合評価 割合	100		レポート、成果発表(口頭・実技)及び学修態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の目安】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>積極的にグループワークやその他の活動に取り組み、栄養士実力認定試験でA以上の成績を収め、さらに、受講態度、学修意欲が非常に優秀である。(①)</p> <p>真摯な自己回顧により自分の行動特性や意識をまとめ、学泉祭や産学連携事業でリーダーシップを発揮し、就職活動報告では1年生が活動状況を的確に理解できるプレゼンテーション技法や効果的なレポートがまとめられている。(②)</p> <p>S(秀)=①+② A(優)=①または②</p>	<p>グループワークやその他活動に取り組み、栄養士実力認定試験でB以上の成績を収め、さらに、受講態度も真面目で、学修意欲も優秀である。(①)</p> <p>自分の行動特性をまとめることができ、礼節も問題なく守れ、学泉祭や産学連携事業にも関わり、協調して実行できた。さらに就職活動報告も1年生に対し理解が出来るプレゼンテーションであったと判断した場合(②)</p> <p>B(良)=①+② C(可)=①または②</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	食品工場見学 県外研修で地域の食文化と食環境を学ぶ。 (見学の引率)	県外研修 食品工場見学と体験実習	県外研修の意義と地域の食文化や食環境が理解できること。	(予習) 県外研修の意義と地域の食文化や食環境についてまとめておく。 (復習) 研修レポートを作成すること。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
2週 /	産学連携事業① 献立作成、栄養価計算を学修する。 (鈴木)	講義 グループワーク 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	産学連携事業の必要性を理解し、事業の概要を説明できる。	(予習) 昨年度の実施内容を参考に案を作成しておく。 (復習) 試作を実施し、課題を整理する。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
3週 /	産学連携事業② 献立、栄養価計算書を修正する。 (鈴木)	演習 グループワーク 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	連携企業担当者に事業内容、工程表等を説明できる。	(予習) 修正した献立を確認しておく。 (復習) 決定した項目をまとめ、課題を洗い出しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
4週 /	栄養士実力認定試験対策講座① ガイダンス、給食管理、食品衛生学 (鈴木)	講義 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	給食管理(材料、調理、保管、会計)や細菌性食中毒や異物混入等食品衛生学について理解ができる。	(予習) 該当科目の傾向と対策を整理しておく。 (復習) 授業の振り返りを行い、理解できていない事柄について自身で勉強しノートにまとめておく。資料問題及び過去の問題を実施しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
5週 /	栄養士実力認定試験対策講座② 臨床栄養学 (服部)	講義 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	糖尿病、高血圧等の食事療法について理解ができる。	(予習) 該当科目の傾向と対策を整理しておく。 (復習) 授業の振り返りを行い、理解できていない事柄について自身で勉強しノートにまとめておく。資料問題及び過去の問題を実施しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
6週 /	社会人基礎力育成グランプリ大会の準備 (鈴木)	グループワーク プレゼンテーションへの準備 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	社会人基礎力グランプリ大会の意目的及び能力要素とグループの発表内容が説明できる。	(予習) 作業の進捗状況を確認し、プレゼンテーションについて検討しておく。 (復習) グループの発表資料について、課題と改善点をまとめておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	社会人基礎力育成グランプリ大会の学科審査会 (1・2年合同) (鈴木・熊崎・服部)	グループワーク(鈴木) プレゼンテーションの実施 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	グループの取組経過及び内容、発表方法について振り返り、課題が説明できる。	(予習) グループの発表方法について、検討しておく。 (復習) グループで発表した内容をまとめること。他の発表内容の要旨をまとめておくこと。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
8週 /	栄養士実力認定試験対策講座③ 調理、栄養指導 (早瀬)	講義 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	調理学、栄養指導論について理解ができる。	(予習) 該当科目の傾向と対策を整理しておく。 (復習) 授業の振り返りを行い、理解できていない事柄について自身で勉強しノートにまとめておく。資料問題及び過去の問題を実施しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	栄養士実力認定試験対策講座④ 栄養学、生理学、生化学、解剖学 (横田)	講義 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	栄養学、生理学、生理学について理解ができる。	(予習)該当科目の傾向と対策を整理しておく。 (復習)授業の振り返りを行い、理解できていない事柄について自身で勉強しノートにまとめておく。資料問題及び過去の問題を実施しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	栄養士実力認定試験対策講座⑤ 食品学総論、食品加工学、栄養学各論 (山本)	講義 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	食品学総論、食品加工学、栄養学各論について理解ができる。	(予習)該当科目の傾向と対策を整理しておく。 (復習)授業の振り返りを行い、理解できていない事柄について自身で勉強しノートにまとめておく。資料問題及び過去の問題を実施しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	栄養士実力認定試験⑥ 栄養教育、栄養カウンセリング (熊崎)	講義 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	栄養教育、栄養カウンセリング等について理解ができる。	(予習)該当科目の傾向と対策を整理しておく。 (復習)授業の振り返りを行い、理解できていない事柄について自身で勉強しノートにまとめておく。資料問題及び過去の問題を実施しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	栄養士実力認定試験⑦ 公衆栄養学 (鈴木)	講義 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	わが国の健康課題や栄養課題が理解でき、公衆栄養活動のあり方が説明できる。	(予習)該当科目の傾向と対策を整理しておく。 (復習)授業の振り返りを行い、理解できていない事柄について自身で勉強しノートにまとめておく。資料問題及び過去の問題を実施しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	栄養士実力認定試験⑧ 総合問題 (鈴木)	講義 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	専門科目を複合した総合問題について理解ができる。	(予習)該当科目の傾向と対策を整理しておく。 (復習)授業の振り返りを行い、理解できていない事柄について自身で勉強しノートにまとめておく。資料問題及び過去の問題を実施しておく。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	就職活動状況報告会 内定獲得学生が就職活動状況や面接状況を説明し、1年生の就職支援に活かす。 (服部)	グループワーク 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	効果的な就職活動の発表方法について理解できる。	(予習)先輩や友人の活動を参考に自らの活動をまとめ、プレゼンテーション資料を作成しておく。 (復習)レポートにまとめておき、提出することができる。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	2年間の振り返り (鈴木・熊崎)	講義・演習・グループワーク 先回授業のポイントを質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	特別演習の意義を再確認し、建学の精神、社会人基礎力の育成、Pisa型学力の修得について自己評価することができる。	(予習)特別演習の意義の再確認と社会人基礎力の向上について自己分析しておく。 (復習)2年間の特別演習と自身の社会人基礎力育成及び活用状況についてレポートを作成する。	90	主体性実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力